

様式2 【生活様式などの無形のもの】

ふくしまの森林文化調査カード

県 HP公開 (可 否)

区分	1. 森づくり 4. 森と暮らし	2. 森の恵み 5. 森の文化財	3. 森と技 6. 森の風景
分野 (ふりがな)	(分野) 生 業	(ふりがな) なりわい	
地域独特の呼び方	—	—	
タイトル	木 挽 (3)		
伝承地域	飯館村大倉 (村一円)		
由来	(いつ、どこで、誰によって起こり、どのようにして現在まで (いつまで) 伝えられてきたか) 会津地方では、モトヤマ (元山) と一般に呼ぶ。大工の板図から、木の伐採・削り・柱・桁・梁などをつくっていく。会津地方では、建前のときに謡い (うたい) を歌うなど、主要な役になる。只見町のモトヤマは、その職祖の由来や祭り方を記載した巻物を所持する。弟子離れに授かる場合が多かった。		
内容	(内容と共に、行事・祭りの場合は実施の時期、郷土料理の場合レシピなども) 木挽は、たえず危険の伴う仕事であったので、その俗信や禁忌は他の職業よりも多く、厳格に守られていた。(次頁の実例参照)		
文化財等の指定状況	—		
問い合わせ先	飯館村教育委員会	電話0244-42-1611	

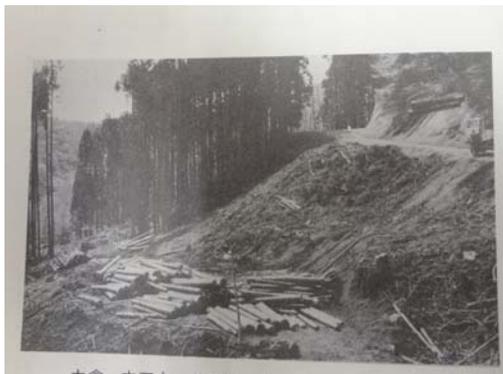
【継承活動を行っている方がいる場合】

個人	氏名 (ふりがな)	_____	※顔写真がありましたら、コピーか電子ファイルをご恵願います。(貼り付けずに、名前がわかるようにして同封ください。)
	性別・年齢 生年月日	男 ・ 女 _____ 歳 明治・大正・昭和・平成 _____ 年 月 日 生	
	住所・電話	〒 _____ 電話 _____	
	職 業	_____	
団体	団体名 (ふりがな)	_____	
	代表者氏名 (ふりがな)	_____	
	団体の設立年月日	_____ 年 月 日 明治・大正・昭和・平成 _____ 年 月 日	
	問い合わせ先	_____ 電話 _____	

【フリーフォーマット】

キーワード

- 山仕事には産火を嫌った。産火の時は、3日位山仕事を休んだ。
- 木を伐る時は、木の廻りをきれいにして、枝の張り具合を見てから伐る。
- 木を伐った後は、切り口のささくれをきれいにとる。(山の神様が来て休むときに困るから)
- 沢にある三つ又の木を伐るな。
- 根上がりで窓木になっているものは伐るな。
- 大きな木を伐るときには、別の木の枝をその辺りにさして植え替えしてくるか、その切り口に一本挿してくるものだ。会津地方では、伐採した切り株に、梢の枝やまわりの笹を立てて、山の神に、木を与えて(恵んで)くれた礼をするとともに、たてた木ずえから再生を祈った。
とぶふきたて
「飛房立」と呼ぶ地方もある。



(飯館村教育委員会)